

【証券コード：6728】

決算説明資料

2019年度（FY2019）

第3四半期（累計）（2019年7月～2020年3月）

2020年5月14日

株式会社 アルバック

2019年度第3四半期の連結業績についてご説明します。

◆**将来見通しに関する記述についての注意事項**

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

当社グループのお客様であるFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）・半導体・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆**本資料における表示方法について**

（特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです）

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q（累計）： 第2四半期連結累計期間

2Q： 第2四半期連結会計期間

2019年度3Q(累計) 連結業績 ハイライト

□ 受注高 1,193億円（前年同期比▲31%）

- 3Qは1・2Q比回復したが、前年同期比（累計）ではFPD関連の投資延期等により大幅減少

□ 売上高 1,425億円（前年同期比▲16%）

- 前年同期比減少（新型コロナウイルスの影響等もあり、下期予想比進捗低い）

□ 営業利益 132億円（前年同期比▲40%）

- 売上高低下により、前年同期比減少

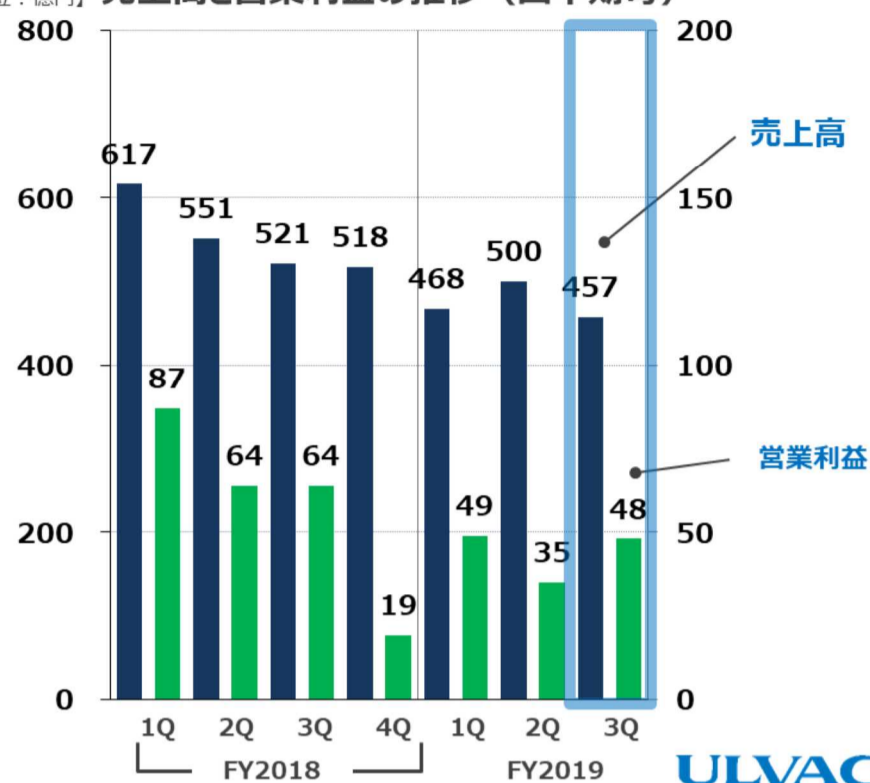
□ 2019年度（2020年6月期）の業績を修正

2019年度3Q（累計）連結業績概要

- ・ 受注高：3Qは1・2Q比回復したが、前年同期比（累計）ではFPD関連の投資延期等により大幅減少
- ・ 売上高：FPD・コンポーネントなど前年同期比減少（新型コロナウイルスの影響等もあり、下期予想比進捗低い）
- ・ 営業利益：売上高低下により、前年同期比減少

【単位：億円】	2018年度		2019年度	
	3Q（累計）実績	3Q（累計）実績	対前年同期増減率	
受注高	1,736	1,193	-31.3%	
売上高	1,689	1,425	-15.6%	
売上総利益	506	394	-22.1%	
率	29.9%	27.6%	- 2.3 pt	
販管費	286	262	-8.5%	
営業利益	219	132	-39.8%	
率	13.0%	9.3%	- 3.7 pt	
経常利益	231	151	-35.0%	
率	13.7%	10.6%	- 3.1 pt	
親会社株主に帰属する当期純利益	173	110	-36.4%	
率	10.2%	7.7%	- 2.5 pt	

【単位：億円】 売上高と営業利益の推移（四半期毎）



4 FY193QPSN20200514J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

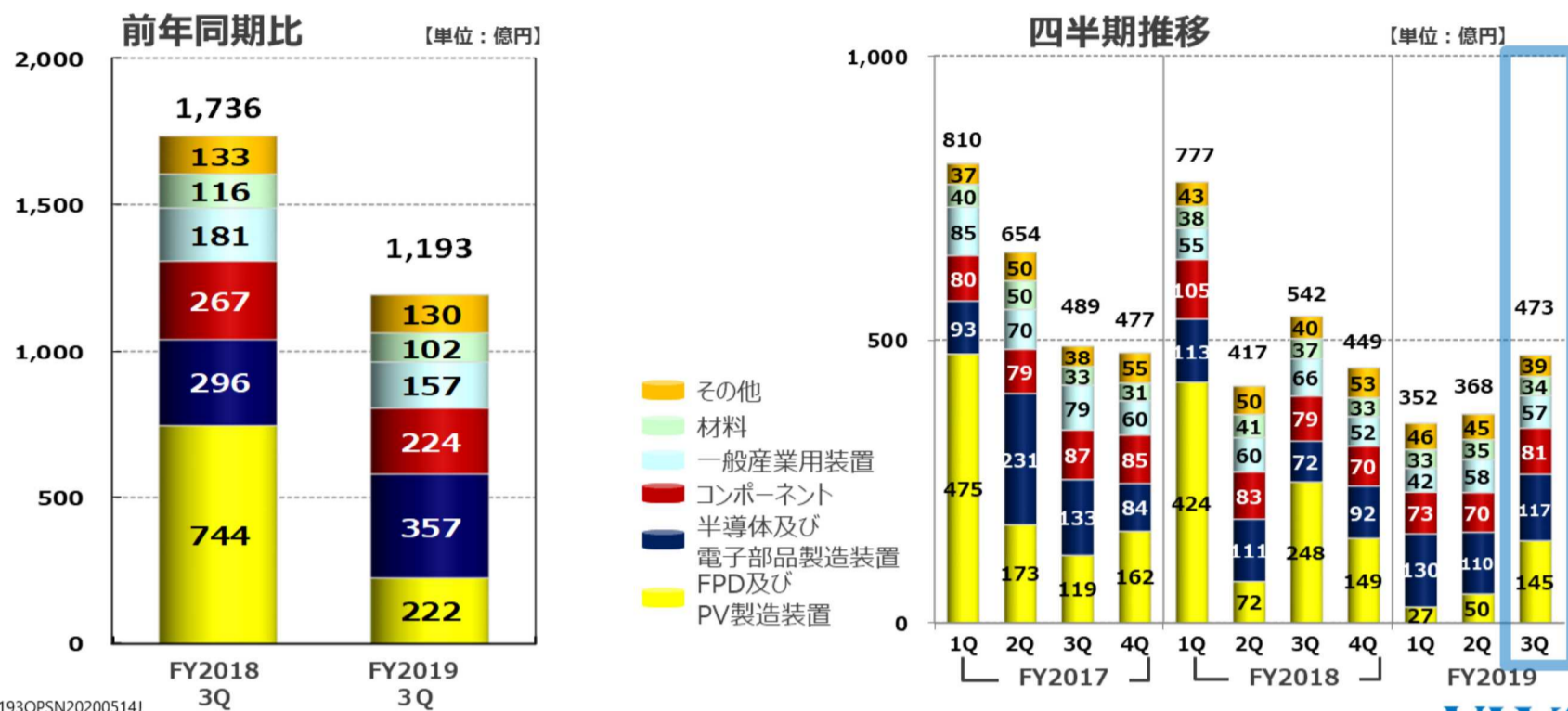
受注高についてはP5で詳しく説明しますが、3Qは1・2Q比FPD・コンポーネントを中心に回復しましたが、累計では前年同期比、FPD関連の投資延期等により大幅に減少しました。

売上高は、FPD・コンポーネントなど前年同期比減少しました。新型コロナウイルスの影響等で装置のインストールや検収に遅れが生じていることから、前回(2月)修正開示の下期予想比、進捗は低くなっています。

営業利益も売上高低下により、前年同期比減少しました。

2019年度3Q（累計）連結業績概要（品目別受注高）

- FPD・PV製造装置：3Qは1・2Q比回復したが、前年同期比（累計）では、大型TV用LCD商談一巡、スマートフォン用OLED投資延期等により大幅減少
- 半導体・電子部品製造装置：半導体投資回復に遅れが見られるも、電子関連は引き続き堅調で、前年同期比増加



5 FY193QPSN20200514J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

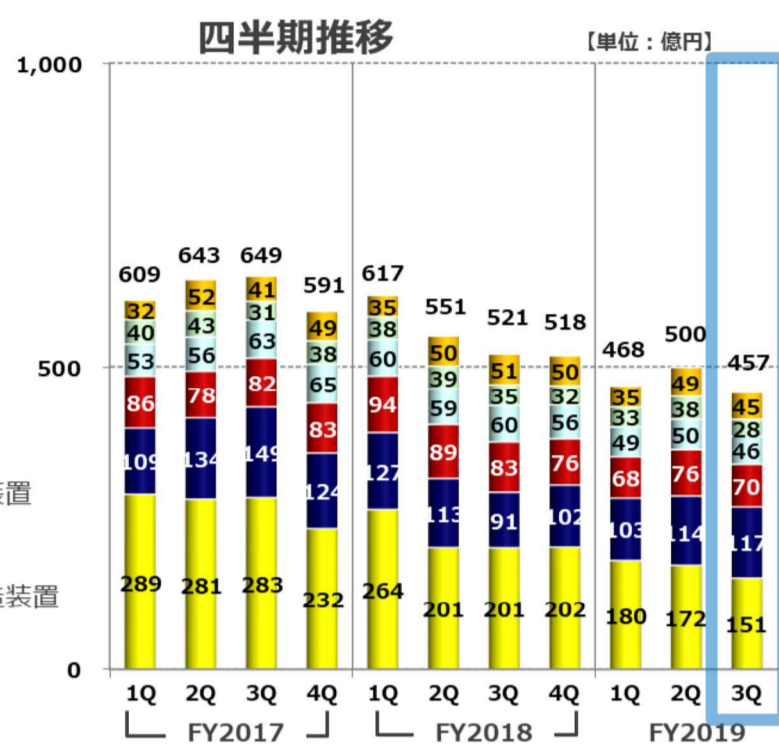
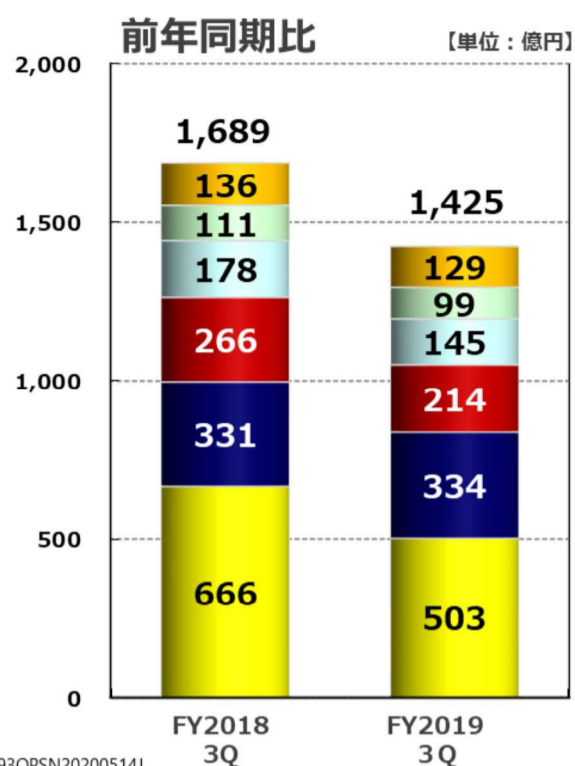
FPD関連の受注は、1・2Q比回復しましたが、3Q累計では大型TV用LCDの商談が一巡したこと、スマートフォン用OLED投資の延期等により前年同期比大幅に減少しました。

半導体は下期からの投資回復を期待していましたが、回復に遅れが見られみした。一方、電子関連は、5Gをはじめとするスマート社会に対応する通信デバイスやパワー半導体、光学膜などが引き続き堅調で、半導体電子は前年同期比増加しました。

コンポーネントは、上期の自動車・FPD関連の投資減速による減少から3Qはいったん持ち直しましたが、累計では前年同期比減少しています。

2019年度3Q（累計）連結業績概要（品目別売上高）

・ FPD・PV製造装置：期初受注残高が相当水準あったことから、売上高減少は限定的



- その他
- 材料
- 一般産業用装置
- コンポーネント
- 半導体及び電子部品製造装置
- FPD及びPV製造装置

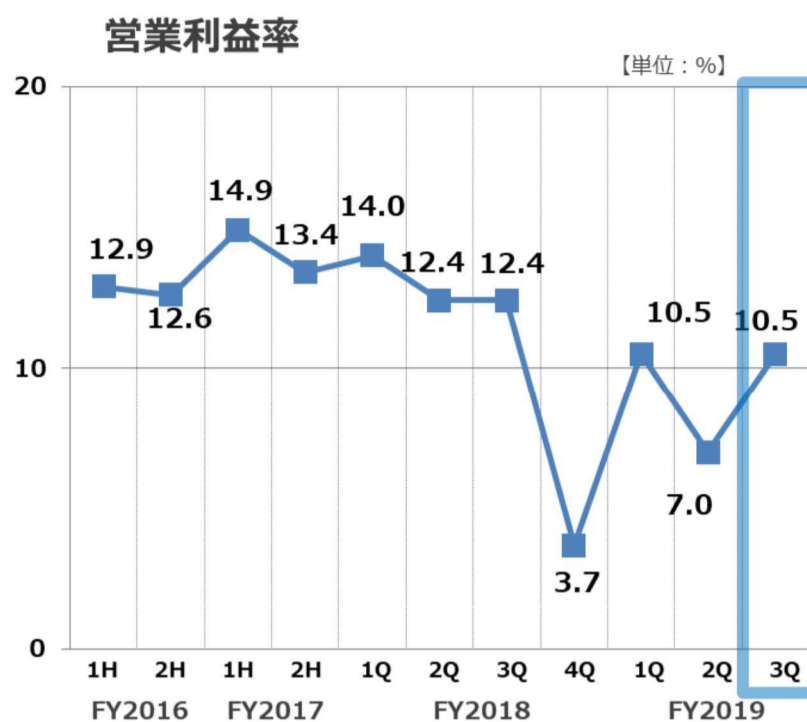
6 FY193QPSN20200514J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information



FPD関連の売上は、期初の受注残高が相当水準あったことから、3Q累計の売上減少は限定的でした。

2019年度3Q 連結業績概要（利益率）

- ・ 売上総利益率・営業利益率ともに高水準



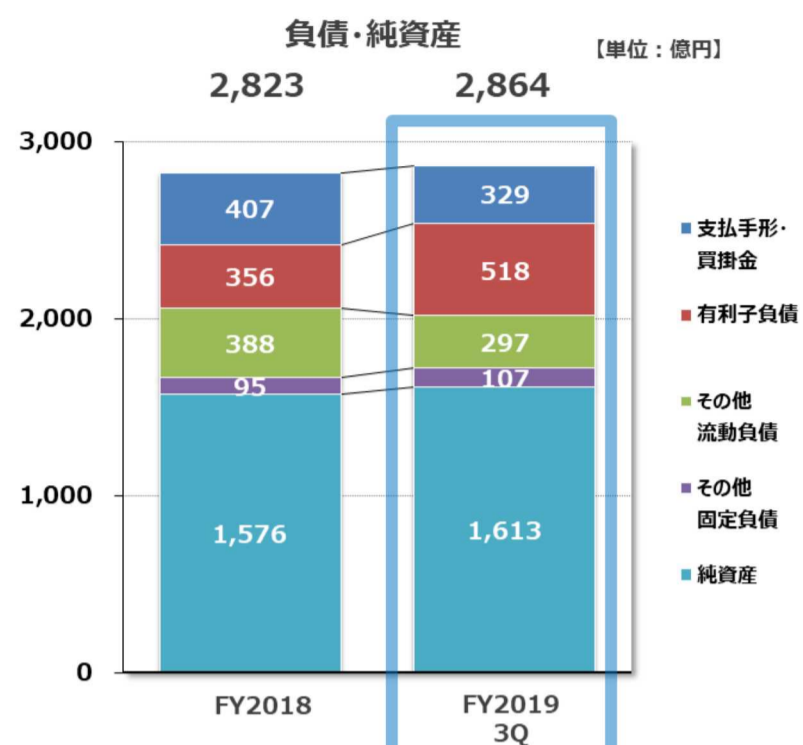
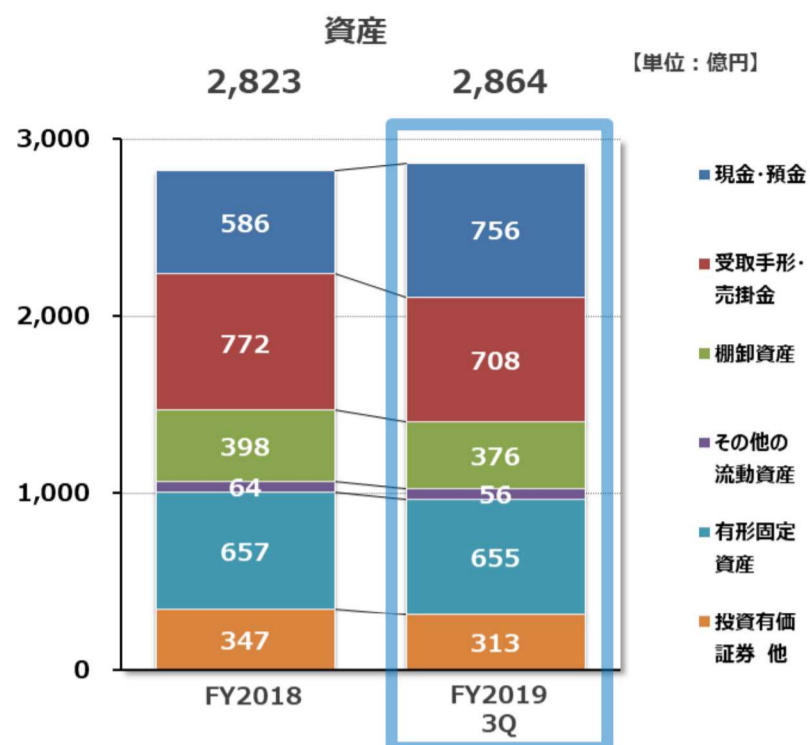
7 FY193QPSN20200514J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

売上総利益率・営業利益率とも、
新型コロナウイルスの影響等により固定費が減少し、高い水準となりました。

2019年度3Q 連結業績概要（連結貸借対照表）

- ・ 現金・預金170億円増加、有利子負債163億円増加
- ・ 純資産37億円増加、自己資本比率54.0%



8

FY193QPSN20200514J

© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

前期末比、現金・預金は170億円増加し、有利子負債も163億円増加しました。純資産が37億円増加し、自己資本比率は54%となりました。

2019年度通期業績予想の修正

・新型コロナウイルスの影響等により、受注高・売上高・営業利益の減少が見込まれることから、売上高および各利益項目を下方修正

【単位：億円】

	(参考) 2018年度 通期実績	2019年度				2019年度	
		3Q累計 実績	通期		従来予想比 (差異・増減%)	上期実績	下期修正予想
			従来予想*	修正予想			
受注高	2,185	1,193	1,680	1,520	-160 -9.5%	720	800
売上高	2,207	1,425	1,980	1,810	-170 -8.6%	967	843
営業利益	238	132	150	120	-30 -20.0%	84	36
率	10.8%	9.3%	7.6%	6.6%	-0.9 pt	8.7%	4.3%
経常利益	256	151	166	140	-26 -15.7%	99	41
率	11.6%	10.6%	8.4%	7.7%	-0.6 pt	10.3%	4.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	187	110	108	105	-3 -2.8%	78	27
率	8.5%	7.7%	5.5%	5.8%	+0.3 pt	8.0%	3.2%

※2020年2月13日公表値

9

FY193QPSN20200514J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

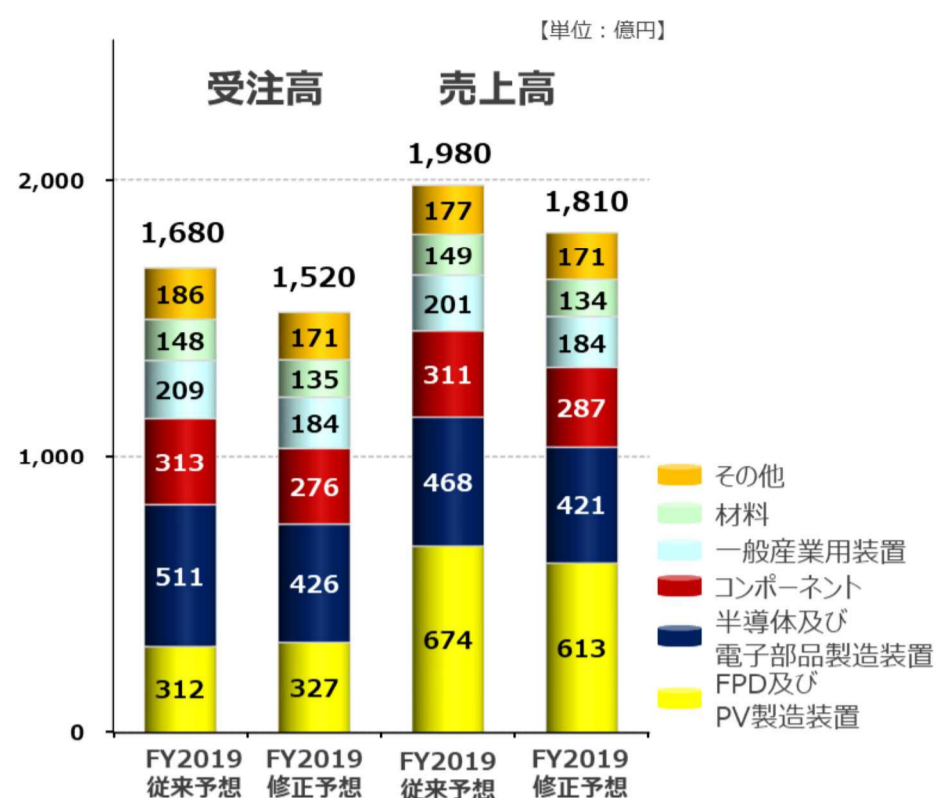
ULVAC

本日、2019年度通期の業績予想の修正を公表させていただきました。
具体的には、新型コロナウイルスの影響等により、
受注高・売上高・営業利益の減少が見込まれることから、
売上高および各利益項目を下方修正しました。

受注高は、従来予想1,680億円から1,520億円に160億円減少、
売上高は、従来予想1,980億円から1,810億円に170億円減少、
営業利益は、150億円から120億円に30億円減少、
当期純利益は、108億円から105億円に3億円減少
に下方修正しました。

2019年度通期業績予想の修正

・新型コロナウイルスの影響等により、受注高・売上高ともに通期予想を下方修正



【新型コロナウイルスの影響】

受注高減少

- (主な要因) ・訪問面談（商談）できない
- ・他社装置の調達遅れ、投資計画延期
- ・客先工場の稼働低下

売上高減少

- (主な要因) ・受注延期の影響
- ・インストール・検収の延期
- ・客先工場の稼働低下

10

FY193QPSN20200514J

© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

新型コロナウイルスの影響につきましては、
受注高については、お客様を訪問しての商談ができないことや、
他社装置の調達の遅れ、投資計画延期、
お客様の工場の稼働低下などにより減少する見込みです。

売上高は、受注延期の影響に加え、
お客様の工場に行けないことによるインストールや検収の延期や
お客様工場の稼働低下等により減少する見込みで、
通期予想を下方修正しました。

【基本方針】

- ・アルバックグループ従業員、家族、取引先など関係者の安全・健康を第一とし、感染防止に向けた施策を実施する
- ・お客様への供給責任を果たす

【生産・開発体制】

- ・生産・開発拠点は、各国政府、地方自治体の方針に従い、感染防止対策を徹底した上で業務継続
- ・物流、調達など大きな問題は発生していない。事業継続に必要な対策実施中
- ・すでに構築している**4極生産・開発体制（日本、韓国、台湾、中国）**により、万一感染で工場や開発現場が閉鎖となった場合でも、他拠点で代替生産・開発可能

新型コロナウイルスへの対応につきましては、

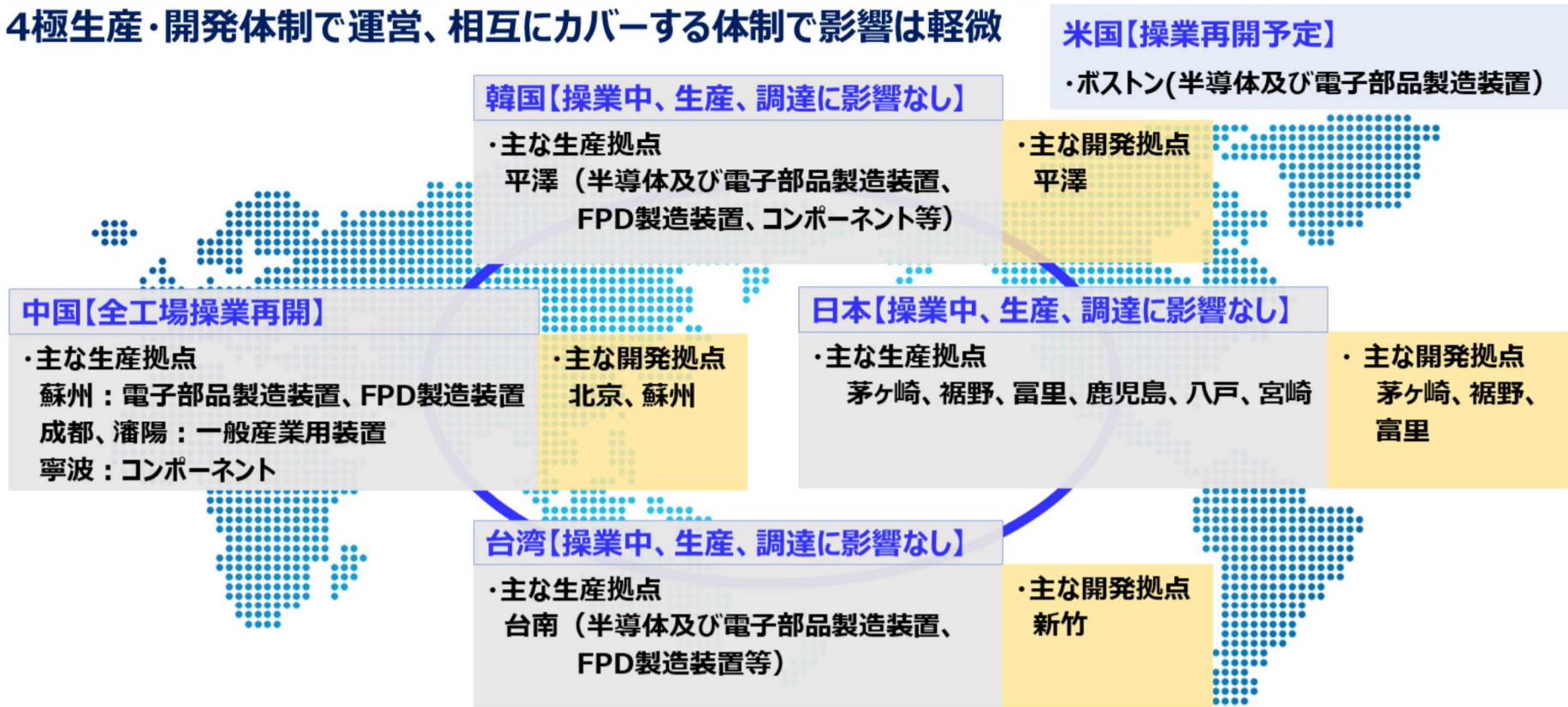
- ①グループの従業員・家族・取引先など関係者の安全・健康を第一とし、感染防止に向けた施策を実施するとともに、
 - ②お客様への供給責任を果たすことを基本方針として取り組んでいます。
- 生産・開発拠点は、各国政府・地方自治体の方針に従い、感染防止策を徹底した上で操業を継続しています。

また、物流・調達など大きな問題は発生しておらず、事業継続に必要な対策を実施しています。

アルバックグループでは、日本・韓国・台湾・中国を中心に、お客様の近くでの4極生産・開発体制の構築を進めてきました。これにより、万一感染等により工場や開発現場が閉鎖となった場合でも、他拠点での代替生産・開発が可能な体制となっています。

主要生産・開発拠点の状況

- ・主要生産・開発拠点、業務継続中。サプライチェーンに大きな影響なし
- ・4極生産・開発体制で運営、相互にカバーする体制で影響は軽微



12 FY193QPSN20200514J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

主要生産・開発拠点の稼働状況は、
図の通りで、中国の各工場も春節明け後、
各省政府の指示に従いながら、いち早く操業再開しており、
現在、主要生産・開発拠点は順調に稼働しています。

日本・中国・韓国・台湾に主要生産・開発拠点を持ち、
4極体制で相互にカバーする体制を構築済みであり、また、
それぞれの地域ごとにサプライチェーンを育ててきていることから、
調達面も含め事業の継続に特に大きな支障は生じておりません。

新中期経営計画のポイント

経営改革を推進することにより、経営基盤を強化する。

1. 成長事業

スマート化社会実現のための技術革新を支える商品・技術で、半導体・電子ビジネスを拡大

2. 研究開発力強化

技術センシング機能強化及び経営資源を集中させるために開発部署を統合し、成長市場の技術革新に対応した商品開発を強化

3. モノづくり力強化

技術、設計から生産体制までの全ての工程における生産改革の推進

4. グループ経営効率強化

グループにおけるプラットフォームの整備及び経営一体化を推進

13 FY193QPSN20200514J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

新中期経営計画については、8月にご説明しますが、
現在検討している新中期経営計画のポイントについてご説明いたします。

次期中期経営計画では、経営改革を推進することにより、
経営基盤を強化していきます。

その実現のためのポイントとしましては、

第1に、成長事業として、スマート社会実現のための
技術革新を支える商品・技術で半導体・電子ビジネスを拡大していきます。
またコンポーネントビジネスも強化していきます。

第2に、こうした技術革新に対応した商品開発を強化するために、
技術センシング機能の強化を図るとともに、開発部署を統合し
経営資源の集中を行っていきます。

第3に、技術・設計から生産までの全ての工程における生産改革を進め、
モノづくり力を強化することで生産性と利益率の向上に取り組んでいきます。

第4に、グループ経営資源や情報等の共通化・共有化を実現する
プラットフォームを整備し、経営の一体化を更に進めていきます。

足下は、新型コロナウイルスの影響等もあり厳しい環境にありますが、
中長期的には、5Gをはじめとするスマート社会実現に向けた
技術革新をビッグチャンスと捉え、半導体電子を成長の柱として伸ばしていきます。

既に中国市場では、装置のインストールを早期に行ってほしいとの
強い要請も出てきており、また、5G等スマート社会の実現に向けた
エレクトロニクス関連の積極投資姿勢も見られるようになってきています。
これからの技術革新の潮流をビッグチャンスとして、確りと取り込めるよう、
経営改革を進めていきたいと考えております。

トピックス 企業価値向上への取り組み

グループ会社も含め、「健康経営優良法人2020」認定

株式会社アルバック（3年連続）：
「健康経営優良法人2020（ホワイト500）」大規模法人部門に認定。

アルバック販売株式会社（2年連続）：
アルバック・ファイ株式会社：
アルバックテクノ株式会社：
アルバックヒューマンリレーションズ株式会社：
「健康経営優良法人2020」中小規模法人部門に認定。

「夢があって、仕事が好き、職場に行くのが楽しくなる」状態を目指し、「人間力の向上」を目標に、社長、健康推進責任者の役員、総務・人事部長、産業医、保健師が一体となって健康経営を推進していく。



2020年3月に神奈川県政策局主催の「マイME-BYOカルテ」企業対応ウォーキングにおいて、株式会社アルバックは「神奈川県知事賞」として表彰。

GPIFの国内運用機関が選ぶ 「改善度の高い統合報告書」上位ランクイン (3年連続)

ULVAC

真空

アルバックグループ
ULVAC
VALUE REPORT
2019
ULTIMATE
IN VACUUM



(日本語版)



(For English)

引き続き、ハイ・クオリティーかつ分かりやすい情報開示
に取り組んでいく。

14

FY193QPSN20200514J

© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

ホワイト500（健康経営優良法人2020）の認定を
アルバックは3年連続受けました。
グループ会社も中小規模法人部門で認定を受けています。

またGPIFの「改善度の高い統合報告書」上位に3年連続ランクインしました。

さまざまな業界・用途で貢献するアルバックの真空技術



Automobile
自動車



Semiconductor
半導体



Flat Panel Display
フラットパネルテレビ



Photovoltaic
太陽電池



Food Processing
食品



Aircraft
航空



Bio
バイオ



Smart Phone
スマートフォン



Magnetic Device
磁気デバイス



Home Appliance
家電製品



Aerospace
宇宙産業



Pharmaceutical
医療・薬剤



Wearable/VR
ウェアラブル/VR



Power Device
パワーデバイス



MEMS Device
MEMS デバイス



Architectural Glass
建材・スマートガラス



Optical
光学



Flexible
フレキシブル



Packaging Materials
パッケージング



Next Generation Light
次世代照明

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる
ULVAC